

事例② 目標の共有	小学校	中学校	高等学校
<p>★ポイント</p> <p>○学校の経営方針及び重点目標を再確認し、全職員で取り組もうとする意識を高める。</p> <p>○共通理解に向けてのコミュニケーション（話し合い）の過程を大切にする。</p> <p>■関連する視点：視点1－校長のリーダーシップ 視点3－問題の発見と共有</p> <p style="text-align: center;">視点5－参画意識の醸成</p>			

研修の計画

- ◇ 目的
話し合いを通して、自校の役割や目指す方向、自分たちが大切にしているものを確認する。
- ◇ 所要時間 ：約70分
- ◇ 方法・形態 ：4～6人のグループでの話し合い、演習
- ◇ 対象者 ：全職員
- ◇ 展開

内容	留意点	資料
<p>■研修の目的、方法、進め方等の確認 (5分)</p>	<p>・目的を確認した上で、話し合いのルール（約束）を示すなどして、効果的に進められるようにする。</p>	<p>・話し合いのルール</p> <p>・ホワイトボード</p> <p>・付箋</p>
<p>■話し合い(対話)【テーマ例】 ※①～④の中から、いくつか選んで行う</p>		
<p>1 本校のミッション探索 (使命・役割) (20分)</p>	<p>①本校の教育目標と、学校経営方針にある○○○という言葉は、何を意味しているのでしょうか。</p> <p>②私たちは、誰に対して、何をすることで、どんな貢献をしてきた(役割を果たしてきた)のでしょうか。</p>	<p>・「誰」は貢献対象であり、児童生徒のほか、保護者、地域住民等が考えられる。</p> <p>・喜ばれたり、役に立ったりした体験や取組など、具体的な事実を語り合い、自校の役割について考える。</p>
<p>2 本校のビジョンの創造 (目指すもの) (20分)</p>	<p>①私たちが望むことは何ですか。</p> <p>②私たちにはどんなことが期待されているのでしょうか。</p> <p>③私たちができることは何ですか。</p> <p>④私たちが目指すものは何でしょうか。</p>	<p>・願望(will)、期待(must)、可能性(can)を話し合ってから、目指すものを考え、自校のミッション(あるべき姿、使命)を共有する。</p>
<p>3 行動指針の共有 (大切にしているもの) (20分)</p>	<p>①自校のミッション(ビジョン)を実現するために、私たちが最も大切にしたい価値(信条、原理原則)は何でしょうか</p> <p>②絶対に譲れないこと、これがなくなったら私たちではなくなるという、一番のこだわりは何ですか。</p>	<p>・一人一人のこだわり(大切にしている価値)を足がかりに、みんなが共感できる価値(原則)を見つけていく。</p> <p>・原則がいくつか見つかったら、適切な言葉でまとめ、全体で共有する。</p>
<p>■振り返り (5分)</p>	<p>振り返りシートに参考になったことや感想を記入する。</p>	

- ◇ 評価
自校の役割や目指す方向、自分たちが大切にしているものを確認することができたか。

研修の進め方

本校のミッション探索

本校の教育目標と学校経営方針を確認し、話し合いを通して、自校のミッション(役割)と自分たちの職務について考えます。

- ①「教師としての自分が喜ぶ場面」「子どもが喜ぶ場面」「保護者が喜ぶ場面」それぞれについて、各自、付箋に書く。
- ②付箋を模造紙に貼りながら、喜ばれたり、役に立った体験や取組などを語り合い、共有する。
- ③ ②で明らかになった「自校に期待されていること」について、「自校ができること(誰に対して、何ができるか)」を考え、話し合う。

本校のビジョンの創造

学校課題について教職員で話し合ったり、課題設定に至る過程や理由についての説明を聞いたりして、重点目標(学校課題)について確認します。

学校の重点課題を明らかにし、教職員が納得して取り組めるようにすることが大切です。

期待される振り返り

- ・納得して仕事をするためには、問題について本音で話し合い、目的を確認したり合意点を見つけたりすることが大切だと感じました。
- ・教師も子どもも保護者も、「子どもが成長した」と感じたときに喜びを感じることを再確認できました。

工夫

●ビジョンを共有するために、学校を紹介するポスターを協同で作成します。

◇学校の特色や取組を保護者や地域住民に紹介する場面を設定し、グループで「〇〇学校紹介(ポスター)」を作成し、発表する。

◇作成したポスターは、職員室の廊下やPTA会議室等に掲示する。

参考資料・情報

・村川雅弘編著「授業にいかす、教師がいきる、ワークショップ型研修のすすめ」ぎょうせい 2005年

平成〇〇年度 学校経営方針〇〇立〇〇小学校

1 学校経営の理念

「教師の輝きが子どもを輝かせる」を教育の基調とし、教師と子どもの人間的なふれあいと学校・家庭・地域の共同作業により、一人一人の子どもの資質能力の伸長を目指す。

2 教育目標(めざす児童像)

○なかよくする子 ○考える子
○たくましい子 ○はたらく子

3 学校像

○活気に満ちた学校
○規律正しく、互いのよさを認め合える学校
○分かる楽しい授業で子どもの能力を引き出す学校

4 教職員像

○心身共に健康で使命感に溢れる教職員
○品位と人間味あふれた信頼される教職員
○進取の精神をもち、常に資質の向上に努める教職員

5 学校経営の方針

全教職員の活気と連帯感に満ちた和の中で、教職員一人ひとりの主体性や特性が生かされる組織運営を目指すとともに、学校・保護者・地域との深い信頼と連携の中で、子ども一人一人の「生きる力」を育む。

【自校のミッション(例)】

ミッション(使命・児童生徒の成長に対する基本任務) 教師と子どもの人間的なふれあいと学校・家庭・地域の共同作業により、一人一人の子どもの資質能力の伸長を目指す。		
貢献対象 (~に対して)	貢献方法 (~することで)	貢献内容 (~する)
児童生徒		子どもにとって居がいのある学級経営とわかる楽しい授業と展開し、子ども一人一人の資質・能力を伸ばす。
保護者		授業公開や学校便り、HP等を充実させ、学校の取組や子どもの様子とわかりやすく伝える。
地域住民		学校行事や総合的な学習の時間を積極的に活用し、地域住民との交流を通して、相互理解を深める。
同地区の学校		授業研究会や連絡協議会と合同で行い、児童生徒や指導に関する情報を共有する。

【話し合いのルール】(例)

- 互いの価値観を尊重し合う。
- 違いを認め合った上で、共有できる新しい考えを探し出す。
- 自分の経験をもとに、自分の言葉で語る。
- 発言をよく聴いて自分の考えを深める。